

### (1) 畜政対策

国際化に対応した今後の肉用牛経営の発展に必要な対策・規制緩和等の農林水産省等への要請実施など、現場の声が施策に反映されるよう関係団体等と連携して畜政活動に取り組み、会員相互の意見を集約した経営者運動を展開する。

### (2) 消費拡大対策

国産牛肉のPR等、消費拡大対策を働きかけ、国民の食料に対する良質・安全・安心への要求に対応するとともに、国内肉用牛経営の維持・発展に寄与するため、関係機関・団体と連携し、国産牛肉の消費拡大運動に取り組む。

### (3) 経営改善対策

国際競争力強化に対応するため、さらなる経営の合理化、規模拡大、肉質の改善等を進めるための研究会を開催するとともに関係機関・団体の活動に積極的に参画する。

### (4) 情報・組織対策

全国農業経営者協会及び(一社)全国農業会議所、畜産関連団体と連携を図りながら情報活動及び組織強化対策に取り組むとともに、国政に生産者の声を届けるための活動を行う。

## 具体的な活動

### (1) 諸会議の開催

#### ①総会

日時：2019年2月4日(月) 東京都中央区「番屋 八重洲本店」

内容：2018年度事業報告、2018年度収支決算等の報告

2019年度事業計画、2019年度収支予算等の承認

2019年度会費ならびに徴収について

役員改選について

#### ②役員会

事業方針及び重要事項について協議するため、役員会を開催する。

#### ③監事会

日時：2019年1月15日(書面監査)

内容：長谷川良光監事(栃木県肉用牛経営者会議会長)、萩原廣宣監事(鹿児島県肉用牛経営者会議会長)により、書面にて実施した。

### (2) 研究会等の開催

#### ①全国肉用牛経営者現地研究会(2019年10月、沖縄県内で実施予定)

事例発表や経営改善対策、肉用牛情勢の分析等を踏まえた討議と会員相互の研さんを図る。

#### ②全国農業経営者研究大会 肉用牛分科会

日時：2019年2月5日(火) 東京都中央区「AP東京八重洲通り」会議室

内容：「自家配合飼料と農場HACCPを活用した牛肉の安全性とおいしさについて」

講師：石井牧場 石井裕一代表(神奈川県葉山町)神奈川県肉用牛経営者協議会会員

概要：県内の精米工場から出た碎米(しょうゆなどの原料に使われる)を釜で炊飯したものを食品残さ飼料(エコフィード)に活用し、コストを抑えて良質な肉牛を生産している。和牛60頭、交雑牛10頭を肥育。「加熱処理済み飼料は吸収率が高く、発育や肉質も向上するので米も炊く方が良い。

牛の軟便もほぼゼロになった。通常半年かかる堆肥の生産が約2か月に短縮でき、牛舎の臭気も減少している。枝肉も9割以上がA5もしくはA4になっている」という。

(公社)中央畜産会主催の「2018年度エコフィードを活用した畜産物生産の優良事例表彰」では、石井さんのこれまでの取り組みが評価され、優秀賞を受賞している。

### **(3) 畜政活動**

畜政の動向および現場の肉用牛経営をにらみながら、必要に応じて生産現場からの政策提言・要望を検討・実施する。また、要請活動について積極的に行っていく。

### **(4) 情報資料等の発行**

会員の活動紹介や専門の情報等を内容とする資料を作成・送付するとともに、重要な農政情報などを全国農業経営者協会及び(一社)全国農業会議所(全国農業新聞等)と連携を取りながら、適宜会員に届ける。とりわけ農林水産省からのプレスリリース等のうち、会員から要望のある情報の入手・提供に努める。その際、当会議所のホームページを通じて、情報発信を行う。

### **(5) 組織の拡大**

肉用牛経営者会議未設置県に対する組織化を促すとともに、個人会員の加入を推進する。

### **(6) その他**

目的の達成に必要な事業を行う。